

独立行政法人国立病院機構
沖縄病院 広報誌

発行日
平成27年7月8日
第33号
発行所
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14
編集発行 広報委員会



基本理念 患者さまの立場を尊重し高度で良質の医療を提供します



久米島町奥武島の畳石：当院から西に120km。久米島の東部、西奥武島（にしおうしま）の南海岸にある奇岩郡。干潮時に現れる岩が五角形や六角形の亀の甲羅のように亀甲岩とも呼ばれ、その数1,000個以上。南北50m、長さ250mにわたり、砂浜に広がる。安山岩質の溶岩がゆっくり冷えて岩石になる時に割れ目ができる柱状節理と呼ばれるもので、世界的にも珍しいといわれている。表面は波の浸食でほとんど平坦になっており、まさに自然の作り出した芸術作品。（県指定天然記念物：1967年）

運営方針

- ① 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
- ② 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
- ③ 健全な経営基盤の確立
- ④ 安心して療養に専念できる快適な環境
- ⑤ 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実



表紙の植物：イジュ／学名：Schima liukuensis／ツバキ科ヒメツバキ属／沖縄・奄美諸島に分布する木で、高さが20mにもなる常緑高木。5月～6月に直径3cm位の白い花を開く。沖縄の梅雨入りの頃にヤンバルの森に白く映える。イジュの花は、沖縄の歌「琉歌」にも歌われ、沖縄や石垣島の人にとっては身近な植物。

目次

『緊禪一番』（きんこんいちばん） ～気持ちも新たに気を引き締めて 目標達成に邁進しよう!～ 院長 川畑 勉	2
研究検査科 新人紹介	2
消化器内科 新人紹介	3
大腸 CT 検査を 受診してみませんか	3
ドイツ旅行記	4
新戦力紹介	5
編集後記	8

ロゴマークの意味



南国沖縄のイメージを表現する為に、原色（はっきりとした色）を基調とし、ベースは沖縄 okinawa の“O（オー）”を表しています。肉太い赤で太陽を表現。中は波をブルーで表し、全体として健康を象徴する人間の笑顔をかたち取っています。



『緊禪一番』(きんこんいちばん)

～気持ちも新たに気を引き締めて目標達成に邁進しよう!～

国立病院機構沖縄病院 院長 川畑 勉

向暑の候と申しまして南国沖縄は連日の暑さに加え梅雨本番を迎えておりますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新年度は新入職員・転入者を含めまして45名を迎えての船出です。昨年度は、年末の時点では赤字覚悟の状況でしたが、全職員が**一致団結**、背水の陣で協力してくれ何とか黒字にすることができました。職員の物事に取り組む集中力・底力を見せてもらいました。また来年度の3月には本館建て替えの同意もいただき、今年9月の神経内科病棟の竣工に引き続き、職員のモチベーションもさらにアップしました。

当院の今年度の目標は

- 1 **特定がん拠点病院**(肺がん)をめざす。すでに今年2月から常勤の病理医を迎え放射線科・内科・外科・整形外科の診療科で**がんサージカルボード**を開催しています。
- 2 『**本館建て替え**』の着工にめどをつける。
- 3 『**地域連携室の強化**』：骨軟部腫瘍専門医を常勤として迎え、一般整形外科のみならず、**転移性骨腫瘍**にも診療範囲を広げる。**神経内科**においては**パーキンソン病・認知症**外来を開設し、MRI検査に加え、脳電位検査による早期診断・早期治療へと繋げ、効率的な対策が立てられるようにしたい。
- 4 『**充実した外来・入院治療**』：内視鏡室を開設し、本年度は新たに大腸内視鏡に比べ痛みの少ない大腸CT検査を取り入れました。さらに消化器内視鏡専門の女性医師を迎え、女性の患者様が気軽に受診できるような体制の確立を目指します。**呼吸器内視鏡部門**においては呼吸器内科・外科が連携し、新たに**超音波気管支鏡下針生検**(EBUS-TBNA)を始めました。以上、新年度を迎え、当院における新たな医療展開をご紹介させていただきました。

『緊禪一番』、今年度の目標が達成できるよう先頭に立って頑張りますのでよろしく願いいたします。



新人紹介 研究 検査科

研究検査科医師
熱海 恵理子



ご挨拶が遅くなりましたが、2月より沖縄病院に赴任しました、熱海恵理子と申します。

私は1996年浜松医大を卒業し、研修後、静岡県内で呼吸器内科医として働いていましたが、2001年7月より沖縄に移住し、琉球大学第一内科に入れていただきました。2009年に、琉大の病理の教室から、「人不足なので、誰か貸して欲しい」との要望が第一内科にあり、肺病理に興味があったこともあり、呼吸器からは私が行くことになりました。勉強を始めてみると、難しいながらも面白く、

ピンク色のガラスの魅力にとりつかれてしまい、一昨年からいまでは内科医として外来も細々続けてきましたが、病理医として生活する決心をし、現在に至ります。

赴任して約半年になりますが、こちらの病院は、提出される検体の臓器の種類は限られているものの、それぞれの臓器の中では症例豊富で難しい症例も多く、非常に興味深く思います。なかなか十分なレポートが返せないこともありますが、臨床の先生方との連絡を密にし、臨床所見との照合を行いながら、患者さんの利益につながる良いレポートを心がけていきたいと思っています。臨床所見とあまりにも乖離した診断はなにか見落としがある場合もあると思いますので、疑問点やご要望などがおありの際にはご遠慮なくお声かけください。できる範囲内で極力対応していきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

新人紹介 消化器 内科

消化器内科医師
古謝 亜紀子



初めまして。5月から沖縄病院に赴任いたしました古謝亜紀子と申します。

琉球大学医学部を2006年に卒業し、初期研修終了後は群馬県で消化器内科、胆膵系を中心に消化器内科全般を勉強し、2013年に沖縄に戻ってきました。

消化器内科は、食道から肛門までの消化管と、関連する肝臓・胆嚢・膵臓などを診療する科です。そのため多岐にわたる検査や治療があります。

その中でも胃カメラや大腸カメラは「きつく、苦しい検査」の印象がある方もいらっしゃると思いますが、最近では機械の進

歩や鎮痛・鎮静剤を使って楽にできるようになっています。

沖縄は大腸がんが全国的にも多い傾向で、特に若年者の大腸がんも増えてきています。

肛門や大腸という場所からなかなか病院に行くのをためらう方もいらっしゃると思いますが、特に女性の方は受診をためらうことが多い印象がありますが、検査を行うことで早期発見に繋がったり、安心感を得られることもあります。

受診をためらっている方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度外来にお越し下さい。

またその他にも便秘や胸焼け、体重減少など気になる症状がある場合は、自己判断で経過観察せずに一度相談にいらしてみてください。

病気は患者さん本人にしか分からない辛さなどがあると思いますが、その症状をきつくないよう苦しめないようにしていく、寄り添うような医療を目指していきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

大腸CT検査を受けてみませんか

放射線科 八木 茉璃



みなさんは、大腸がん検査に対して、どういうイメージをもっていますか。お尻を出して検査をするのがはずかしい、カメラなどの太い管を入れられるのが怖いなどで検査をためらい、血便や便秘が続くなど何らかの症状が出てから検査を受けようと思う方は多いと思います。

大腸がんは早期発見で治る病気です。まずは、検査を受けることが大事になります。

大腸がん検査には、いくつか種類があります。簡便にできる便潜血検査や大腸壁・内部を詳しく調べる注腸検査・大腸内視鏡検査、そして「大腸CT検査」です。

大腸CT検査は、欧米で先駆けて普及し、当院でも今年の1月より検査を行っています。検査時間は30分程度で、鉛筆ほどの細いチューブを肛門から5cmほど入れ、大腸を炭酸ガスで膨らませ、仰臥位・腹臥位の2回撮影します。2回撮影する理由として、仰臥位・腹臥位に体位変換することで便や水分が移動し、病気との判別が可能となるからです。大腸内に便や水分が残っていた場合、便を病気(ポリープ)と間違えて判断したり、水分により病気が隠れてしまったりします。また、その病気との区別を正確にするために、前日から当日の食事を消化の良い検査食にし、たくさんの水分を摂って残渣を排泄していただく必要があります。そうすることで、大腸の壁や内部がより正確に観察できます。

検査の特徴は、1つ目に患者の苦痛や負担が軽いことです。注腸検査のようにバリウムを注入したり、体を回転させたり、大腸内視鏡検査のようにやや太いカメラを肛門から大腸の奥まで入れる必要はありません。2つ目に大腸内視鏡検査でカメラ挿入困難、大腸で狭窄部があった場合も大腸CT検査が代用できます。大腸内視鏡検査では、大腸が長すぎて、全大腸をカメラで観察できなかつたり、大腸の形によりカメラが進みにくかつたり、検査が困難な場合があります。しかし、大腸CT検査では、大腸の長さや形状に関わらず全大腸の観察が可能となります。3つ目に大腸以外の腹部の情報も大腸CT検査でわかります。CT撮影範囲内には、大腸以外にも肝臓、胆のう、すい臓、脾臓、腎臓などの腹部臓器も含まれます。それらを同時に観察することができるた

め、大腸がんにおける腹腔鏡手術の術前検査に適します。4つ目に大腸を様々な角度から観察できます。検査終了後、撮影したCT画像をもとに3D画像を作成します。大腸CT検査は、大腸内視鏡のようにカメラの向きが一方向のみではありません。多方向からの角度でくまなく観察しますので、病気の判断が分かりやすくなります。

これらを踏まえると、大腸CT検査は、大腸がん検査の中では比較的検査に対する心理的な抵抗は少なく、利益が大きい検査ではないでしょうか。特に沖縄県は、2013年大腸がんによる死亡率が全国で第2位という危機的な状況にあります。大腸がんは、早期発見で治ります。案ずるより産むが易し!大腸がんを心配するより、実際に大腸CT検査を受けてみませんか。そして、3年ごとに定期検査を受けましょう。



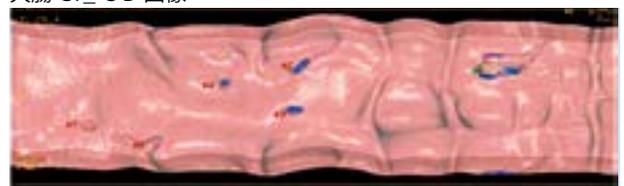
大腸内視鏡画像



大腸CT画像



大腸CT_3D画像



大腸CT_展開像

ドイツ 旅行記

診療情報管理室 福地 美里

“3泊5日でドイツ7都市のクリスマスマーケットを周り、おまけに4つの世界遺産とシンデレラ城のモデルになったノイシュバンシュタイン城を駆け巡る弾丸ツアー”

「3泊5日でここまで凝縮されたツアーは他にない。思い立ったら吉日!」と勢い任せにドイツツアーに申し込みました。

12月19日ツアー当日。初の海外一人旅で不安でしたが、フランクフルト空港へ降り立つと休む間もなくフランクフルトクリスマスマーケットへ直行。

着くとそこには、色とりどりのイルミネーションで街が彩られ、おもちゃやお菓子、ツリー飾りを売る屋台など、日本では見たことのないメルヘンな光景に胸が高鳴りました。

1日目はフランクフルトで終わりましたが、2日目は一気に、世界遺産レジデンツがあるヴュルツブルグ、川沿いの街並みが美しいバンベルク、中世の面影を残すローテンブルクと3都市のクリスマスマーケットを周りました。

3日目は、おもちゃの町ニュルンベルク、ドナウ河畔のレーゲンスブルク、南ドイツ最大都市ミュンヘンと次から次へと各都市のクリスマスマーケットを巡っていきました。

ここで気づいたのですが、ドイツといえばビールと思いきや、クリスマスマーケットではビールが売られておりません。

ドイツのクリスマスマーケットではビールではなく



グリューワインが主流だそうです。グリューワインは、赤ワインにオレンジピールやシナモンなどの香辛料をいれ温めたホットカクテルの一種です。またクリスマスマーケットで売られているグリューワインですが、コップが各都市でデザインが異なるため、集めるのも楽しみの一つなんです。

ツアー最終日は、シンデレラ城のモデルとなったノイシュバンシュタイン城と教会の装飾が美しいヴイス教会へ行きました。

あっという間の3泊5日でしたが、とても充実した日々でした。今度はドイツ語を勉強してビール祭りオクトーバーフェストに挑戦したいと思います。

